

富士山松輝で机作り

来年1月に制作、参加受付

富士山ろくのヒノキの伐採から住宅への利用、植林まで持続可能な流通システムを持つ木材の新ブランド「富士山松輝（ひのき）」を使った学習机の制作体験イベントがこのほどスタートした。

工務店などの組織、富士山木造住宅協会・森林認証材委員会による初めての取り組みで、手作りで机を仕上げた思い出を通して、二酸化炭素削減や治山といった環境への貢献を狙った富士山松輝ブランドをアピールしていく。

イベントの第1回は「きこりツアール」と題して先ごろ開催された。富士山松輝で住宅を建設中の施主家族ら25人が参加し、日本製紙北山社育林（富士宮市北山）での富士山松輝伐採の様子や、富士ひのき加工協同組合（富士

市大淵）での製材の現場を見学。緑の循環森林認証会議（SGEC）によって森林の管理から製材、住宅用のプレカット、施工まで含めた流通経路全体に対して認証が与えられ、品質の厳格管理の下で富士山松輝が活用されている様子を学んだ。

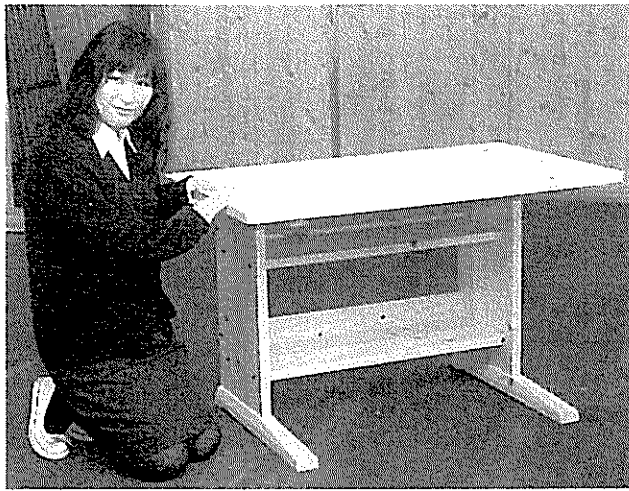
富士山松輝を使って住宅を建設中という田中一美さん千夏子さん夫妻は「この山で育った木が家や机に使用されると思うと楽しみ」と期待を膨らませた。学習机の制作は、来年1月16日（土）と同23日（土）にマルグイ（富士市大淵）で開催予定の第2回と3回イベントで行われる。

机は静岡県出身のデザイナー小田原健さんが手掛けたもので3種類を用意。いずれもむく材の質感を楽しめるシンブルなデザインとなっている。

環境の保全に直けた森林認証についてよく理解してもらい、富士山松輝を積極的に選んでもらいたい。富士山で



富士山松輝が育つ北山社有林を見学した参加者



富士山松輝を使った机の完成品（下）

同委員会では、途中からの参加希望者も受け付けている。費用は机1台5万5000円。問い合わせと申込は以下の工務店ホームページからメールなどで受け付けている。

- ▽植松一級建築士事務所▽エコワールド▽工藤建設▽建築工房わたなべ▽澤田建築▽三和建設▽ダイヤリビング▽大功建設▽常木工務店▽LOHAS同委員会では「地球